札幌市議会 市政報告 vol.1 2011.11

林せいじ 市政だより

市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主党・市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX 011-775-6322
URL http://hayashi.main.jp/ E-MAIL hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

林せいじ 1期目スタート

決意も新たに 札幌市北区のために働きます!!

林せいじも札幌市議会議員となって早くも半年が経過しました。

市議会議員の任期は５月２日からスタートしており、５月の臨時議会、６月は第２回定例会、９月から１１月は第３回定例会と開催されました。林せいじは常任委員会については「総務委員会」へ所属し、調査特別委員会は「経済・雇用対策、新幹線等調査特別委員会」へ所属となりました。総務委員会は所管内容が幅広く１期目の私には勉強になると実感しております。

また、第３回定例会では初の代表質問を経験させていただきました。４０分の補充質問ですが、本会議場での長い演説を議員生活半年で経験できるのは幸運でした。そのほかにも決算特別委員会においても４回の質問を行いました。まだまだ分からないことが多く、日々勉強が必要であります。今後も「市民が主役の街づくり」をめざし、努力してまいります。

引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

札幌市議会議員 林 せいじ

第３回　定例札幌市議会

初の代表質問を行いました。

私「林せいじ」が9月30日に初の代表質問で質問したダイジェスト版です。
以下の8項目にわたり質問しました。

代表質問の模様は、札幌市議会ホームページにおいて動画で見ることもできます。
http://www.city.sapporo.jp/gikai/index.html　札幌市議会　検索

Ⅰ．MICE推進について

観光よりも滞在日数の長い、国際会議等の誘致（MICE）を進めているが、東日本大震災の影響が出ている。国際会議等やインセンティブツアーなどの誘致に成功した企業・団体が東日本大震災の発生により中止している場合、再度働きかけをするなど今後の取り組みを強化していく必要があり、特に大市場である中国への働きかけを積極的にするべきである。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

東日本大震災の影響で中止になっていたインセンティブツアーも誘致成功例も出ている、今後中国へ力点を置いた誘致活動も進めて行く。

Ⅱ．創造都市札幌について

市民の中に文化芸術を育む土壌づくりを行うために市長はどのように考えているか。創造都市、創造産業について市民や企業の理解を高めていくためにも、ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請をどのように進めて行くか明らかにされたい。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

ユネスコ創造都市ネットワークへ年度内に加盟申請する。国際シンポジュウムを11月に開催し、実行委員会を設置する。

Ⅲ．低炭素社会の推進について

札幌市も再生可能エネルギー普及に取り組んでいる。今後4年間で市有施設100か所以上に太陽光発電パネルを設置することとしている。太陽光パネルを設置することによるどのような社会的効果が期待されるか。また、民間事業者の省エネルギーに関して、札幌市のCO_2排出量の30％を占める民政業務部門でどのように推進していくか明らかにされたい。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

市民への普及啓発と環境教育に大きく貢献する。中小事業者への省エネ機器導入の支援を継続し、省エネ診断の実施など支援策を展開する。

Ⅳ．雪対策について

札幌市の除雪には、約1,000台の除雪機械を使用している。現状では、企業の所有している除雪機械の更新が進まず、今後の増強対策はどうするのか。ダンプトラックについても東日本大震災の復興工事が本格化すると確保が厳しくなる対応策はどうするのか。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

市として年間25台から30台の除雪機械を購入していく。ダンプトラック対策は、関連団体への協力依頼とともに、排雪量の抑制も求めていく。

V. ミニ児童会館の整備について

保護者からの要望の強いミニ児童会館をどのように整備していくか。学校に教室を確保することが難しい学校においてはどのように整備を進めていくのか。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

すべての小学校区に早期に整備していく。スペースのない小学校においては、活動室を固定しない形で対応していく。

VI. 下水道施設の地震対策について

東日本大震災において仙台市の下水処理場が津波により大きな被害を受け、いまだに復旧していない状況にある。水道やライフラインの復旧は比較的早期に進めても下水処理施設が機能しなければ公衆衛生の確保は難しく、市民生活に大きな影響がある。地震対策の計画策定の進捗状況はどのようになっているか。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

災害に強い下水道実現に取り組む。国や北海道の津波対策等を受け、調査検討していく。

VII. 教員の負担軽減について

学校において、教員が校務に追われ慢性的に多忙にある。事務改善や学校支援体制も整備されてきているが、大きな効果はまだ出ていない。教育の質向上と教員の負担軽減に向けて校務の情報化に取り組んでいるが、今後の見通しはどうなっているか。

代表質問議場にて

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

児童生徒情報のデータベース化を基本とする教務支援システム導入により校務負担の解消を図る。

VIII. 図書館について

札幌市の図書館は大都市の中でも整備は進んでいるが、さらに知識基盤社会を生きる市民を生涯にわたって支えるためにも市民が使いやすくより良いサービスが実現できる図書館とするために第２次図書館ビジョンを策定しなければならない。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 札幌市答弁 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

調べもの相談機能の向上、電子書籍を含め電子媒体による情報提供、ボランティアや関係団体との連携を広げていく。第２次ビジョンでは知の拠点としての図書館を目指す。

決算特別委員会から

捨てるとゴミ、考えれば資源
「生ごみ資源化実験」を実施

１１月から３月までの期間で南区の集合住宅で生ごみを分別収集することとなりました。収集した生ごみは定山渓にある民間の堆肥化施設へ持ち込み堆肥化する実験を行います。札幌市は生ごみ処理機の購入補助なども実施しており、合わせて生ごみ減量化につながる取り組みを実施していきます。「捨てるとゴミ、考えれば資源」。まだまだ検討する余地は多くあります。市民の皆様の意見も是非いただきたいと思います。

収容避難所への公的備蓄を
寝袋や食料への対応、前向きに

東日本大震災の発生を受けて札幌市においても、避難所への公的備蓄の論議が進んでいます。現在は拠点となる避難所へ備蓄物資を保管して、災害発生時に必要な備蓄物資を配送する形式になっています。備蓄物資の中でも寝袋は防寒対策や長期の避難所生活への適応のため、快適性も求めた寝袋の購入が必要となります。食糧においても食物アレルギーが増えている中で、対応が必要と質問しました。札幌市は今後前向きに検討することを明らかにしています。

林せいじ活動報告

宮城県山元町の斉藤町長を囲んで

石巻市の被害状況

山元町の津波被害

仙台市若林区役所前にて、札幌市派遣職員と

市議会議員として半年、この間の活動として記憶に強く残っているのは、6月に訪問した東日本大震災の被災地です。私たちは宮城県の仙台市、石巻市、山元町など札幌市職員が派遣されている自治体を中心に訪問し、被害を見て、派遣職員を激励して来ました。

山元町では斉藤町長がお忙しい中お会いしていただき、被害状況や現状などを話していただきました。特に印象にあるのは、「リセットして町づくりをしていく」という言葉です。

海岸部は多くの家などが津波に流され、土台しか残らない状況でした。「高台に安全な町を作り直したい」と斉藤町長は語ってくれました。

石巻市も多くの家や事業所が津波被害を受けていました。津波被害がない地域でも地盤沈下が進み、満潮時になると道路が海水であふれる地域もあります。災害支援、復興支援はまだまだ継続しなければいけないと思っております。

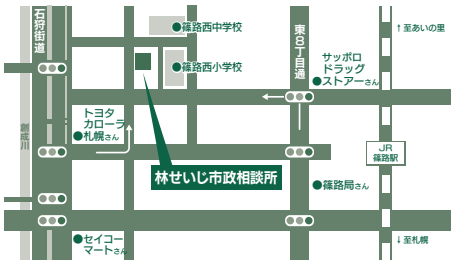
そして札幌市においても災害に強い街づくりをめざした取り組みが必要です。今後、防災計画の見直し、避難所の整備等を実施しなければなりません。東日本大震災の教訓を生かしていく必要があります。

お知らせ

引っ越ししました

市政相談の際は、お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路５条２丁目3-14

TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322

※電話番号・FAX番号は変わりません。